



平成 18 年 9 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 城南進学研究社
 代表者名 代表取締役社長 下 村 勝 己
 (J A S D A Q ・ コード 4 7 2 0)
 問合せ先 総務部長兼経営戦略室長
 杉 山 幸 広
 TEL 0 4 4 - 2 4 6 - 1 9 5 1

平成 19 年 3 月期 中間期及び通期の業績予想の修正について

平成 18 年 5 月 18 日付で発表いたしました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）の中間期及び通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 当中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,859	412	261
今回修正 (B)	3,659	370	△359
増減額 (B - A)	△200	△42	△620
増減率	△5.2%	△10.2%	△237.5%
前期 (平成 18 年 3 月中間期) 実績	4,088	938	485

(2) 通期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	7,026	101	102
今回修正 (B)	6,442	△354	△1,184
増減額 (B - A)	△584	△455	△1,286
増減率	△8.3%	△450.5%	△1,260.8%
前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	7,069	534	238

2. 単体業績予想の修正

(1) 当中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,859	414	220
今回修正 (B)	3,659	371	△400
増減額 (B - A)	△200	△43	△620
増減率	△5.2%	△10.4%	△281.8%
前期 (平成 18 年 3 月中間期) 実績	4,088	936	483

(2) 通期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	7,026	104	62
今回修正 (B)	6,442	△352	△1,225
増減額 (B－A)	△584	△456	△1,287
増減率	△8.3%	△438.5%	△2,075.8%
前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	7,069	531	236

3. 修正の理由

(当中間期)

売上高につきましては、年度途中の入学者及び夏期講習の募集状況が予算を下回ったために、200 百万円の減額修正となります。また、予備校校舎内の修繕及び備品の入れ替えと、個別指導教室の開校ペースを予定より早めたための経費計上により、経常利益は 42 百万円の減額修正となります。

当期純利益につきましては、将来の安定的成長に向けた事業再編成を実施するため、次のような引当金等を計上する見込みであります。まず、当社の大型校舎である池袋校を、学習環境の再整備に向けた改装を施した上で新宿校と統合することにより、賃貸借契約解約違約金及び原状回復費用 240 百万円の発生を見込んでおります。その他の校舎につきましては、学習環境の改善に向けた校舎設備のリニューアルに伴う費用等 115 百万円、大宮校における減損損失 74 百万円を計上する見込みであります。繰延税金資産につきましても、回収可能性を検討して取り崩しを行う結果、当期純利益は 620 百万円の減額修正となります。

(通期)

上記の理由によりまして、売上高につきましては 584 百万円、経常利益につきましては 455 百万円のそれぞれ減額修正となります。

当期純利益につきましては、上記に加えてさらに、校舎設備のリニューアルに伴う費用等として 100 百万円の発生を見込んでおります。その結果、当期純利益につきましては、1,286 百万円の減額修正となります。

以 上